

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公開番号】特開 2019-1776 (P2019-1776A)
 【公開日】平成 31 年 1 月 10 日 (2019.1.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-001
 【出願番号】特願 2018-92661 (P2018-92661)
 【国際特許分類】

C 0 7 C 7/13 (2006.01)

C 0 7 C 15/08 (2006.01)

B 0 1 D 15/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 7/13

C 0 7 C 15/08

B 0 1 D 15/00 1 0 1 A

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 5 月 14 日 (2021.5.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 8 8 】

純度及びパラキシレンの収率に関するこのレベルのパフォーマンスは、当該方法の目標に適合しており、後続の実施例の参照として用いた。

実施例 2 (「パフォーマンス不足」のユニット) :

実施例 1 に示したように純度及びパラキシレンの収率に関して最適に調整されたとみなされているユニットから開始して、同じ脱着剤比を維持しながら生産性を向上させるためにサイクル時間を短縮することとした。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 9 6 】

シミュレーションにより、99.69% のパラキシレン純度が、97.3% のパラキシレン収率で、 $159.6 \text{ kg}_{\text{PX}} \cdot \text{h}^{-1} \cdot \text{m}^{-3}$ の生産性で得られた。したがって、このように調整されたユニットは、それぞれ 99.78% 及び 97.7% である純度及び収率目標と比較すると、「パフォーマンス不足」のユニットであった。

実施例 3 (「過パフォーマンス」のユニット) :

実施例 1 において検討したユニットから開始して、同じ脱着剤比を維持しながら純度及びパラキシレン収率の観点でパフォーマンスを向上させるために、サイクル時間を増加させることとした。